

小児科

【診療科概要】

西湘地区小児医療の基幹病院として、地域医師会、院内各科、大学病院や神奈川県立こども医療センターなどとも連携を図り、一般診療、小児救急、NICU 診療および専門的診療まで幅広く対応しています。詳細はホームページを参照して下さい。

<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/hospital/section/diagno/pediat/syoni000.html>

【目標と理念】

スーパーローテート方式の研修となり、初期研修では、小児科研修できる時間が不十分となった。一人前の小児科医を育てることが、後期研修の目標となる。また当科は小児科専門医研修施設認定を受けており、小児科専門医を取るためのステップとなる。

さらに、病院の小児科医として、機能するためには、将来専門性を習得する必要があるため当科では、横浜市大小児科医局と提携している。当院のみの後期研修も可能であるが、原則横浜市大入局をお勧めしている。

<http://www-user.yokohama-cu.ac.jp/~shonika/sotsugo.htm>

【到達目標】

一年次

- ・ 指導医や先輩の指導を受けながら主治医として病棟患者の治療にあたる。
 - 肺炎、喘息発作、胃腸炎脱水等小児の一般的な入院必要な疾患については診断、治療計画が立てられる。
 - 静脈路確保、腰椎針、気管内挿管等基本的手技ができる。
 - インフォームドコンセント等を理解し、患者家族との信頼関係を築ける。
- ・ 外来診療を担当できる。
 - 感染症等小児の一般的な疾患を理解し、小児のルーティン診察ができる。
- ・ 夜間救急診療を担当できる。
 - 疾患の重症度を的確に判断できる。
 - 応急処置ができる。
- ・ 小児科チームの一員として、チーム医療ができる。
 - 看護師やパラメディカルの役割を理解し、連携が図れる。

二年次

- ・ 一年次の目標レベルをさらに向上させる。
- ・ NICU で、極小未熟児や新生児疾患の主治医ができる。
新生児疾患を理解し、新生児に対する基本的手技ができる。
- ・ 地域医療を理解し、予防摂取、乳児検診等地域保健計画に参加する。
小児疾患の中でも、臓器別専門疾患に対する理解を深め将来の専門性を見極める。
受け持ちの患者の研究、専門外来の補助、大学病院でのカンファレンス参加等、医師会、学会等で症例報告等ができる。